

伊達赤十字病院と住民の皆様を繋ぐ情報誌

だてクロス

総合病院伊達赤十字病院広報誌



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
伊達赤十字病院

ご自由に
お持ち帰りください



＜特集＞『認知症』

- ・ P 2 『認知症と向き合う』
第一精神神経科部長 早川 透
- ・ P 3 神経内科で診る認知症
神経内科部長 松岡 健
- ・ P 4 認知症Q & A
精神神経科医師 高平 充

＜特集＞認知症疾患医療センター

2025年高齢者の5人にひとりが罹患すると予測されている

「認知症」を知る

2

2016/10

伊達赤十字病院は、認知症に対し精神神経科と神経内科で対応できる数
認知症の型、症状に合わせ適切な治療を受けることが可能です。

認知症と向き合う

皆様こんにちは。伊達赤十字病院精神神経科医師の早川透です。私たちの病院は平成23年度内で3番目に認知症疾患医療センターに指定され活動しています。

今日少子高齢化社会となり、平均寿命も上がっております。特にこの地域は高齢人口が全国、全道の平均を超えているため、認知症の方の数も増加しており、認知症の問題が身近で切実なものとなっています。「明日は我が身か老々介護か」という時代となり、認知症を正しくとらえることが必須となってきました。



老化と違う「認知症」の種類

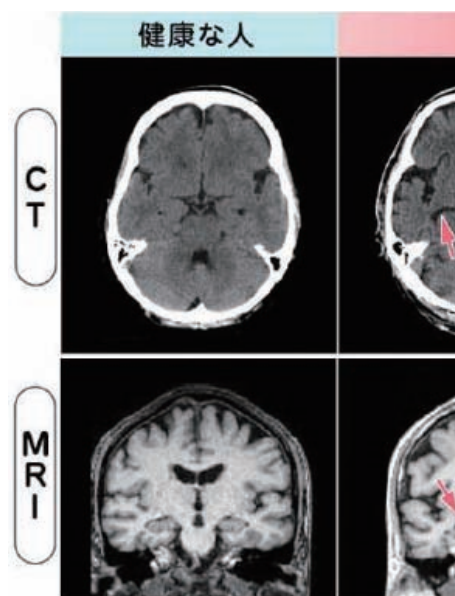
さて、認知症とは単なる老化ではなく病気です。通常慢性あるいは進行性の脳疾患によって生じ、記憶、思考、見当識、理解、計算、学習、言語、判断など多数の高次脳機能の障害からなる症候群のことを言います。症状が進行すると普通の生活を送るのが困難になっていきます。

認知症にはアルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症などがあり、他に慢性硬膜下血腫やせん妄状態、うつ状態などで認知症のように見える状態もあります。

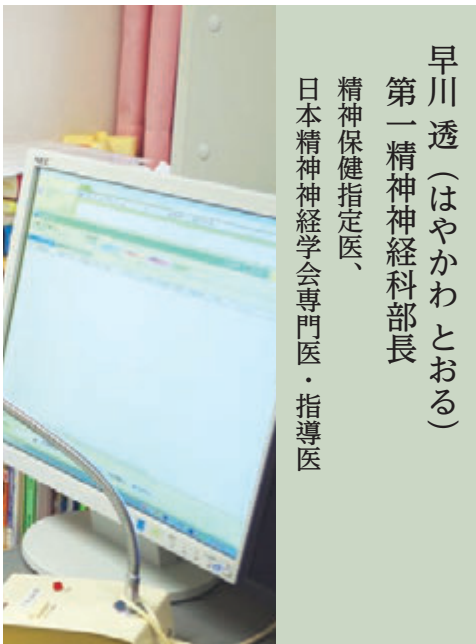
診断のため詳細な病歴の聴取、神経学的検査、心理学的検査（HDS R、ADAS J c o g、CDT、立方体模写、CES-D）画像診断MRI、脳血流シンチ、必要があれば心筋シンチ（MIBG）、DATスキャン（レビー小体型認知症の精査）など行っています。必要に応じて2泊から3泊の検査入院も行っています。

大切なのは地域との連携

認知症に罹患した後もよりよい生活を送る上で、かかりつけのお医者様との連携は大切なことで、介護判定、ケアマネジャーの決定、ヘルパー、訪問看護、デイサービス、シ所など、よりよい生活を全うするための様々なサービスが利用できます。当センターでは、のお手伝いや、病気の予防、罹患後のアドバイスをさせていただいておりますので、お気



少ない医療機関です。



神経内科で診る認知症

認知症を起こす病気はいくつもあります。最も多いのはアルツハイマー型認知症です。もの忘れ、日時や場所が分からなくなるなどの症状が、ゆっくりと進行していきます。加齢に伴う自然な変化と病気の変化を区別することは初期には難しいこともあります。もの忘れ外来で時間をかけて診断する必要があります。

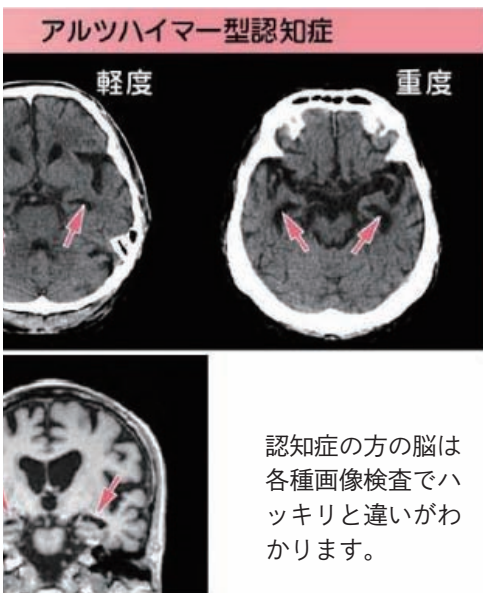
一方で、認知症と同じような症状を起こすけど、適切な治療で回復する可能性がある病気もいくつかあります。ある日急に、または数日～数ヶ月かけて症状がはっきりしてきます。治療を急ぐ病気もあります。突然の変化に気付いたときには神経内科を受診して下さい。

また、脳だけではなく首から下の問題がある認知症があります。診断には神経内科専門医による神経学的診察が必要です。よく転ぶなど体の症状も気になるときは神経内科外来にご連絡ください。

薬、手術で劇的に改善する病気もあれば、根治ではなく付き合っていく認知症もあります。認知症の種類で上手な介護、付き合い方も変わります。まずは受診して診断を受けて下さい。それに仮にアルツハイマー型認知症と診断されていても、症状が急に悪化したとき、「1週間前と違うな」などと感じるときも早急に受診して下さい。

認知症以外に脱水や感染症など体の病気が合併する可能性も忘れてはいけません。

神経内科部長 松岡 健



松岡 健（まつおか たけし） 神経内科部長

九州大学医学博士、日本神経学会神経内科専門医・指導医、日本内科学会認定医・総合内科専門医・指導医・教育責任者、アメリカ内科学会会員、日本頭痛学会専門医・指導医、日本認知症学会専門医・指導医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医

神経内科の「もの忘れ外来」は月・金曜日午後、火・木曜日午前完全予約制で実施しております
ご相談・ご予約のお電話は認知症疾患医療センターまで

神経内科

です。他に介護サービスとの連携
ョートステイ、グループホーム入
病気となっても生を全うするため
軽にご相談ください。

神経内科部長 早川 透



Q1 認知症にならないための予防策はありますか？

『認知症を絶対的に予防可能な方法は確立されておりませんが、文献によるといくつか予防に役立つと思われるデータもあります。脳に刺激を与えられるような仕事、社会的交流、活動的な余暇や趣味、有酸素運動、散歩、指先の運動、健康的な食事などです。』

Q2 認知症と生活習慣病に因果関係はありますか？

『生活習慣病である高血圧や脂質異常症、糖尿病、肥満は、放置すると動脈硬化を進展させてしまう血管リスク因子であり、血管性認知症だけでなくアルツハイマー病にも関与するという文献もあります。生活習慣病を予防する事や、服薬等によってコントロールする事が重要とされます。』

Q3 認知症は薬で治りますか？

『現在、認知症により失われた記憶能力や精神機能を回復する治療法はありませんが、症状の進行を遅らせる事を目的とする薬剤はあります。アルツハイマー型認知症に適応のある薬剤は、ドネペジル、ガランタミン、リバスチグミン、メマンチンであり、レビー小体型認知症に適応のある薬剤は、ドネペジルとなっています。なお、人によって副作用を懸念されるため、必ず医師と協議の上で服用しましょう。』

Q4 認知症に有効なリハビリはありますか？

『国内外の文献によると、認知刺激となるゲームや、計算練習・漢字書き取りなどの課題、有酸素運動、過去における回想、音楽療法、認知課題と身体活動を同時に行う二重課題トレーニングなどが有効というデータもあります。楽しみやコミュニケーションを取り入れ、生活機能の向上を目標にその人それぞれに合ったリハビリを行うことが必要とされます。』

Q5 家族に認知症患者がいる場合気を付けるべきことはありますか？

『まず、安全のため、危険な行動がないか見守りを行い、自尊心に配慮しつつ安心感を与えるような声かけをしましょう。認知症の患者さんの中には、ご自身の健康管理や服薬管理が困難な方もいるため、周囲の方による確認を要することもあります。なお、認知症の周辺症状（怒りっぽい、幻覚、妄想、徘徊等）に留意し、本人にとって少しでも安全で過ごしやすい生活を、医療者やケアマネージャー等と協議していくことが必要です。また、本人が興味関心を持って取り組めるような趣味や活動を通して、能力保持に努めましょう。』



昭和五十六年二月二日生
東京都出身
平成十八年 千葉大学卒
◆職歴
日本赤十字社医療センター、
葉山ハートセンター
◆資格等
麻酔科専門医、Advanced
PTEEXAM
◆趣味
サッカー、料理など
◆ご挨拶
「物心ついてからずっと
東京とその近郊で過ごして
きました。初期研修修了後
は麻酔・集中治療を専門と
し、一般的な手術はもちろ
ん3009台の新生児の手
術や生体肝移植、成人・小
児心臓外科、脳死ドナーの
管理など特殊な麻酔も経験
しました。そうした経験を
生かし患者さんの安全を第
一に、スタッフの皆さんか
らも安心してもらえるよう
に頑張りたいと思います。
初めての北国暮らし、こ
れから冬に向けて心配もあ
りますが、ワクワクもして
います。よろしくお願ひし
ます。」

ちょっと待って！

その行動、認知症のサインかもしれません



こうしたちょっとした行動の変化に気づいたら、認知症疾患医療センターへご相談のお電話を（無料）。専任の精神保健福祉士3名がまずはお話を伺います。お話しの上、受診された方がいいと判断した場合は、症状や付き添いのご家族の状態に応じ、最適な診療科による受診ができるよう調整いたします。

お気軽にご相談ください

伊達赤十字病院 認知症疾患医療センター

☎0142(23)2211 内線220または455へ

相談対応時間 平日 午前8：30～午後5：00

（スタッフが他の患者さんの対応している際は繋がり難い場合があります）

◆プロフィール
枝 窪 俊 輔
（えだくぼしゅんすけ）

当院の麻酔科は、外来でペインクリニックも行っておりますが、当面枝窪医師の外来は予定しておりません。一般の患者さんとは、主に夜間の救急センター当直時にお会いすることになると思いますので、よろしくお願いいたします。

9月より麻酔科に新しく常勤の枝窪俊輔（えだくぼしゅんすけ）医師が着任いたしました。
麻酔科医は主に手術の際に麻酔管理を行います。ただ麻酔をかけるだけではなく、術中患者さんの状態が安定するよう全身管理をしています。また、術後患者さんの的確に蘇生させる、蘇生術にも優れることから、救急や災害時の高度急性期医療においても無くてはならない存在です。



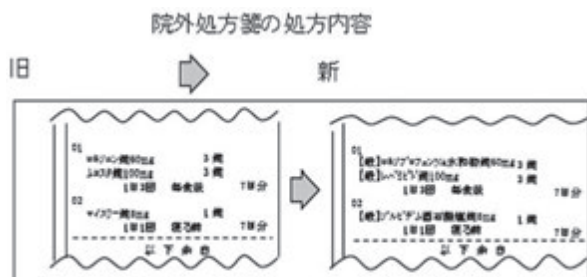
New Face ★

外来受診案内

- ◆初診……保険証をお持ちになり、医事課前記載台にて診療申込書にご記入の上、3番窓口にお越しください。
紹介状をお持ちの方は、一緒に窓口にご提出ください。
- ◆再診……正面玄関前の再来受付機に診察券を入れ受付してください。保険証確認が必要な方、診察券に不具合のある方は医事課窓口にての受付となります。
- ◆休診日……土・日・祝祭日・年末年始・赤十字創立記念日（5月1日）※休診日でも急患の方は救急外来にて対応いたします。
- ◆右記一覧に診療日と記載されている医師でも、都合により休診・代診となることがございます。
- ◆※印のついている医師については、月毎に診療日が異なります。
- ◆この一覧は医師の都合、診療体制の変更により急遽変わることがございます。
- ◆受付時間 午前 8:25～11:00 午後 12:45～15:00
曜日、診療科により受付時間は異なります。
- ◆診療開始時間 医師・曜日により異なります。

来院前に電話による確認をお願いいたします。

お問合せ先：医事課外来窓口
☎0142-23-2211(内線214)



商品名の処方箋

一般名の処方箋

商品名の処方箋
ご協力宜しく願います。

一般名の処方箋
当院から一般名処方箋の院外処方箋をもらった場合は調剤薬局さんの薬剤師とよく相談し、お薬を決定して頂きたいと思っております。

厚生労働省の推進で院外処方（医療機関で処方箋を受け取り、外の調剤薬局でこれを渡しお薬をもらう）の運用する医療機関が大半となりました。更に今までの院外処方箋は商品名で処方されていたが一般名で処方される医療施設が増えつつあります。

当院においても平成28年8月8日より一般名処方で行うこととなりました。

今までは「製薬会社が独自につけたお薬の名前（商品名）で処方を行う商品名処方」が通常でした。それに対してこの一般名処方は「有効成分の名前（一般名）で処方を行うことを行います。例えば痛みや炎症を抑える薬「ロキソニン錠60mg」というのがありますが、これは商品名であり、その一般名は「ロキソプロフェンNa水和物錠60mg」となります。これまでは処方箋に「ロキソニン錠60mg」と表記していましたが一般名処方では「ロキソプロフェンNa水和物錠60mg」となります。

一般名で処方すると、先発品の「ロキソニン錠60mg」はもちろん様々な製薬メーカーから販売されている後発品の中から、調剤薬局の薬剤師と相談して選択することができます。

つまり、一般名処方されたお薬については、今まで飲んでいたものと同じお薬を選択することもできますし、成分が同じ複数のお薬の中から先発品・後発品に関わらず自由に選ぶことができます。

当院から一般名処方箋の院外処方箋をもらった場合は調剤薬局さんの薬剤師とよく相談し、お薬を決定して頂きたいと思っております。

『一般名処方』による院外処方箋の発行について

薬剤部長 佐藤 卓

インフルエンザ予防接種のご案内

6カ月～中学生まで

実施場所▶小児科外来
接種期間▶平成28年10月17日より
※中学生までは予約制となっておりますので、事前に電話予約をお願いします。
予約受付日：月～金曜日
8:25～17:00
☎0142-23-2211
(代表：「インフルエンザの予約」とお伝えください)
接種日▶毎週火曜日
13:30～16:00

高校生以上

実施場所▶当院健診センター
接種期間▶平成28年10月17日～12月28日
受付及び接種日▶当院健診センターにて受付し接種いたします。
(予約の必要はありません)
月～金曜日
午前 10:30～11:30
午後 13:30～14:30

◆接種金額

- ・6カ月～13歳未満⇒1回目・2回目 各2,700円(税込)
- ・13歳～65歳未満⇒1回 4,158円(税込)
- ・65歳以上⇒1,500円(1回のみ)伊達市・洞爺湖町・壮瞥町・豊浦町に住所を有する方
- ・生活保護世帯、市民税非課税世帯⇒無料(65歳以上で伊達市・洞爺湖町・壮瞥町・豊浦町に住所を有し、証明書をお持ちの方)

From 耳鼻咽喉科

『甲状腺外来の実施日を増やしました』

これまで毎週水曜日午後実施しておりました甲状腺外来を金曜日の午後にも実施することになりました。

【お問合せ先】TEL 0142-23-2211(代表：交換に「耳鼻科外来へ」とお伝えください)

From 整形外科

『午後診療いたします』

11月より整形外科 玉田医師が月・木曜日の午後診療を行います。尚、急患・緊急手術が入った場合は外来診療を中止することがあることを予めご了承ください。

『完全予約制を撤廃します』

11月より整形外科外来全般の完全予約制を撤廃いたします。(清水医師の人工関節センターは従来通り完全予約制です)

外来診療一覧

平成28年11月1日現在

		月	火	水	木	金
内科・総合内科	午前	宮崎・出張医	小柴・出張医	宮崎・出張医	小柴・出張医	宮崎・出張医※
	午後	<休診>	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ
消化器科	午前	櫻井・嘉成	久居・山内	櫻井	久居・嘉成	久居・山内
	午後	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ
栄養サポート外来	午後	地域医療連携予約のみ				
緩和ケア外来<完全予約制>	午後	岡本※	<休診>	<休診>	<休診>	<休診>
神経内科	午前	<検査>	松岡	井上	松岡	検査・安喰※
	午後	松岡 13:00~15:00	山田（新患のみ） 13:00~15:00	<休診>	<検査>	松岡 13:00~15:00
もの忘れ・頭痛外来<完全予約制>		松岡（午後）	松岡（午前）	<休診>	松岡（午前）	松岡（午後）
循環器科<完全予約制>	午前	武智（予約のみ） 出張医	出張医	福田	福田	出張医
	午後	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ
外科	午前	川崎・武内	佐藤・行部	川崎（予約のみ）	行部（予約のみ）	佐藤・武内
	午後	<手術>	<手術>	<手術>	<手術>	<手術>
ストーマ外来<完全予約制>	午後	<休診>	<休診>	<休診>	<休診>	行部※ 14:00~16:00
リンパ浮腫ケア外来<完全予約制> 私費診療	午後	<休診>	<休診>	認定看護師・看護師 13:30~16:00	<休診>	<休診>
整形外科	午前	相澤※・富田	玉田	長汐・玉田	玉田・富田	小澤
	午後	玉田 14:00~15:30	玉田 14:30~15:30	玉田 14:30~15:30	玉田 14:30~15:30	<検査・手術>
		<検査・手術>	<検査・手術>	<検査・手術>	<検査・手術>	
人工関節センター<完全予約制>	午前	清水	<休診>	<休診>	清水	清水
小児科	午前	林	林	林 受付10:30まで	林	林
	午後	林 乳児検診 13:30~15:00 一般 15:00~16:00	林 予防接種のみ 13:30~15:30	<手術>	林 非感染症外来 完全予約	林 13:30~15:30
産婦人科 <金曜日のみ完全予約制>	午前	田熊・岡田	岡田・日野	田熊・岡田	岩本・日野	岡田・田熊 交替診療
	午後	<休診>	<休診>	<休診>	<休診>	<休診>
精神神経科 <初診に限り完全予約制>	午前	高平	主張医 9:00~	早川	早川・高平	高平
	午後	（予約のみ） 高平	<休診>	（予約のみ） 早川	予約のみ （早川・高平）	<休診>
もの忘れ外来<完全予約制> 13:30~15:00	午後	<休診>	早川・高平 交替診療	<休診>	<休診>	<休診>
麻酔科	午前	立川 9:00~10:30	立川 9:00~10:30	<休診>	立川 9:00~10:30	立川 9:00~10:30
	午後	<手術>	<手術>	<手術>	<手術>	<手術>
放射線科	午前	地域医療連携予約のみ				
皮膚科	午前	<休診>	出張医 受付10:30まで	<休診>	出張医 10:00~11:30	出張医 10:00~11:30
耳鼻咽喉科	午前	長内	長内	長内	長内	長内
	午後	<検査・手術>	<休診>	長内 13:30~15:30	<検査・手術>	長内 13:30~15:30
甲状腺専門外来<完全予約制>	午後	<休診>	<休診>	長内 13:30~15:30	<休診>	<休診>
眼科	午前	前田 受付10:00まで	前田	前田	前田・出張医	前田・出張医
	午後	<手術>	<検査>	<休診>	<手術>	予約外来 <検査>

社会課掲示板

社会課は、病院にあって特に赤十字の事業に関連するお仕事や地域との窓口になる部署です。講習事業や義援金などの主管部署として、皆様に情報発信してまいります。

健康生活支援講習

～院内ミニ講座のご案内～

『伊達赤十字病院では、家庭での介護方法についての講習会を実施しています。毎日の生活の中で、少しでもご自分でできることを増やしていくための工夫と一緒に学びませんか。』

現在介護されている方はもちろん、将来に備えて、興味がある等ごなたでも受講可能ですので、多くの方のご参加をお待ちしております。』

伊達赤十字病院 健康生活支援講習指導員

講習会場：伊達赤十字病院放射線科外来
(正面玄関入ってすぐ右手のお部屋です)

時間：AM11:00～11:30

※受講料等は一切かかりません。

※事前予約が無くてもご参加いただけます。

※動きやすい服装で来ることをお勧めします。

平成28年度講座開催予定（毎月第4木曜日）

◆体の自然な動きって？～これを知って楽に介助しよう

8月25日：寝返り（自然な動き～一部介助の方法）**終了**

9月15日：起き上がり（自然な動き～一部介助の方法）**終了**

10月27日：立ち上がり（椅子から・床から）

◆知っておこう！安全な車いすの介助方法

11月24日：車いす（移乗一部介助・基本動作・留意点）

◆知っておこう！安全で楽しく食事をとるために

12月22日：食事の介助（姿勢・自助具の紹介・留意点）

◆手洗いでインフルエンザを予防しよう！！

1月26日：感染予防（手洗い・手指消毒・咳エチケット）

◆災害時に活躍する毛布と風呂敷

2月23日：毛布ガウン・風呂敷のリュック・紙箱

社会課掲示内容へのお問合せ・お申込等は
伊達赤十字病院 社会課 担当者 犬井まで
☎0142-23-2211(内線479)

病院ボランティアさんを募集しています



院内の業務をお手伝いしてくださるボランティアさんを募集しております。

年齢、性別、資格等は一切問いません。活動される日時・曜日等もご都合に合わせて調整させていただきます。

空いている時間にちょっと活動してみたいと思われた方は社会課担当者までお気軽にお問合せください。

- ・来院される患者様の受付のお手伝い
- ・車椅子を利用される患者様の介助、移動のお手伝い
- ・院内各部署へのご案内
- ・入院患者様のベッドサイドや身辺の整理
- ・病棟レクリエーションや行事のお手伝い
- ・入院患者様の話相手
- ・待合室、デイルームの整理等

赤十字救急法資格継続研修のご案内

1 開催日時 ①平成28年11月19日(土)

②平成29年 1月28日(土)

2 開催場所 伊達赤十字病院9階会議室

3 費用 1,000円

4 資格 「赤十字救急法救急員認定書」交付

5 申込期日 ①平成28年11月11日(金)迄

②平成28年 1月20日(金)迄

※この研修は既に赤十字救急法の資格を持っている方が対象です。新規で資格取得を希望される方向けの研修は、別途ご案内いたします。

伊達赤十字病院理念

伊達赤十字病院は赤十字のこころを基に、地域の皆様に信頼される医療を目指します。

基本方針

- 1 患者様の人格、人権を尊重した、患者様の立場に立った医療を目指します。
- 2 医療人として常に自己研鑽し、より高度な医療サービスの提供をいたします。
- 3 病院における医療事故の防止及び医療の安全性の更なる向上を図ります。
- 4 胆振西部地域の中核病院として、医療、保健、福祉との連携を図り、住民の健康と生活を守ります。